

令和7年度いじめ問題解決に向けた藤岡市立鬼石小学校の取組

1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

「や・さ・し・い」で たのしい学校生活をおくろう

2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

「自分たちの行動で安心安全な環境づくり」を意識し、児童会を中心に人権担当やいじめ防止担当教員らが中心となり、各学級担任と連携していじめをなくして「いつも気持ちのこもった行動を」に視点を当て、取組を行った。

3 共通の取組「スマイルハイタッチあいさつ運動」「HAPPYはあとふるツリー運動」

①あいさつ運動

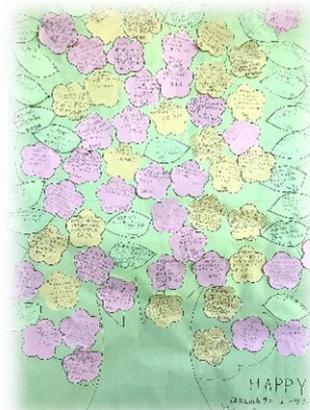
毎月一回、正門で児童会役員が、中学生、PTA、地域の民生委員の協力のもと朝から元気いっぱいにあいさつ運動ができた。また今年度も6年生が鬼石小にこにこプロジェクト（6先生あいさつ運動）を人権集中学習期間に合わせて行った。あいさつを自分から積極的にすること、笑顔で元気にハイタッチすることをめあてとして取り組んだ。後期人権集中学習では5年生も参加をして、高学年が率先してあいさつをする姿が下級生へのよい見本となっている。



②HAPPYはあとふるツリー運動

2学期の後期人権集中学習の活動として

取り組んだ。学級ごとに幹と枝だけのツリーの絵にピンクの花（友達に向けて、良いところや頑張っていること）と黄緑色の葉（自分のこと、頑張っていることや友だち・クラス・学校全体のためにしたこと）を書いて貼った。友達に向けての花は、学年を越えて渡したり、嬉しそうに返事のカードを書いたりする姿が見られた。友達のことだけでなく、自分のことも書くことにより、自分を大切にする自己肯定感も高めることができた。



4 私たちの取組

(1) 人権集中学習

・人権集中学習スローガン

本校では、1学期と2学期に人権集中学習期間を設けている。学習期間の前には、児童会の話し合いでスローガンを決めた。今年度のスローガンは、「や」「さ」「し」「い」を頭文字にした『や：やっぱりすてきな鬼石小 さ：さん、くん、ちゃんで名前をよぼう し：しんらいしよう友達を い：いきいきしたあいさつをしよう』とした。決まったスローガンは人権集中学習期間開始時の朝礼で紹介し、年間を通して廊下に掲示し可視化することで、印象づけて人権集中学習に取り組むことができた。

1学期は、人権学習重点目標の「みんなが笑顔で元気な学校にしよう」をもとに「や・さ・し・い」の「さ・い」を意識するように呼びかけた。各学級でも、あいさつや言葉遣いを意識した目標を設定して、自分たちにできる取組を考えて実施、振り返りをした。また、道徳や学活の授業で友達との関わり方などねらいに適した授業を行ったり、ソーシャルカルタを使って遊びながらマナーとルールを考えさせたりした。

2学期も活動を充実させていくために、同じ「や・さ・し・い」をスローガンとし、学校全体で取り組んだ。

○人権集中学習期間の取組

・全校給食

体育館で縦割り班ごとに集まって、全員で給食を食べる「全校給食」を行った。いつもの給食とは違った環境の中、他学年と楽しく会話をしながら、上級生のもりもり食べる姿に影響され、いつも以上に食事が進んでいた。準備や片付けも協力して行い、楽しい給食の時間となった。

・全校レク

児童会で、みんなで楽しめる全校レクを考えた。6月には「ケイドロ」、11月には「もうじゅう狩り」をした。1～6年生までみんなが笑顔になり、普段の休み時間も学年の枠をこえて仲よく遊ぶ姿が多く見られた。



(2) 縦割り班活動

・なかよしタイム

本校の縦割り班は、1～6年生の全ての学年が入るよう編成され、全部で6班ある。その縦割り班で月に1～2回、朝の業前活動の時間に学年の枠を越えて楽しく交流する「なかよしタイム」を設けている。各班で6年生が中心となって準備や運営を行っている。最初のうちは、計画通りに進められなかったり、遊びのルールが下級生に上手く伝えられなかったりしていたが、毎回の反省で職員から意見をもらい、計画を見直していくうちに、6年生が主体的にまとめられるようになっていった。



みんなが楽しめる遊びを6年生が考えて実施しているので、全校児童が笑顔で楽しく活動できている。異学年交流のなかで、相手を思いやる気持ちや態度が見られるようになってきている。学年関係なく、相手を思いやった声かけや、困っている子に優しく手を差し伸べたりする姿が見られた。3学期には5年生も運営を手伝い、6年生の姿を見て学び、継承している。



・縦割り班清掃

本校では6月から縦割り班で清掃を行っている。1ヶ月ごとに班の分担場所が変わるが、その度に班長を中心とした6年生が、学年や男女のバランスを考えながら細かい仕事を割り振り、責任を持って活動を行っている。高学年の児童が低学年の児童に優しく教えてあげたり、低学年の児童も自分から積極的にできる仕事を見つけたり、互いに教え合い、助け合い、高め合うという学びの場になっている。



5 取組のまとめ

(1) 取組の成果

小規模校である本校では、様々な場面で縦割りの活動をしている。それらの活動場面では、6年生を中心に計画、運営をしていて、教員はサポートという立場で見守っている。年度当初は上手いかわからないことも多くあるが上級生が経験していくうちに、計画や声の掛け方を工夫して自分たちで改善していく姿が見られた。また、下級生も協力したり、自分ができるところを探したりする姿が多く見られた。相手を思いやる気持ちや、他者を認める態度が育ったと感じている。また、人権集中学習期間には、児童会が中心となってスローガンの提示、全校レクの計画・運営を行った。子どもたちが主体となって活動できる場を多くもつことができた。人権学習を通じた児童の意見として、

○友だちの気持ちをよく考えると、仲良くなれました。Happy はあとふるサンキューツリーが終わってもたくさん伝え合いたいです。

○友だちのよいところを見つけると、もっと友だちを好きになれました。また、自分も好きになれました。

○相手のことを考えて行動すると、自分の心が気持ちよくなったり笑顔になったりしました。

など、人権について考え、今後の生活でも続けていきたいという前向きな気持ちが多く見られた。

(2) 今後の課題

クラス替えがなく同じメンバーで過ごすことが多く、人間関係の固定化や言葉づかいによるトラブルが起こることもある。人権集中学習で言葉づかいに気をつけさせたり、友達の良いところを見つけたりしたが、普段の生活や休み時間の様子などを見ていると、まだ課題がある。幼い頃から気心が知れた関係であっても、今後広がっていく人間関係に向けて、思いやりのある言葉かけや態度を身につけさせたいと考える。人権集中学習期間中だけでなく日常意識として維持できるように、児童会や委員会、縦割り班活動等を通して、さらにいじめ未然防止への意識向上を図っていきたいと考える。

令和7年度いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立鬼石小学校

月	学校の取組	一貫校の取組
4月	・全校 1年生お迎え集会	・児童会を中心としたスマイルハイタッチあいさつ運動(児童会・PTA) ・年度初めの「生活の決まり」の確認 ・生活アンケートをもとにしたSOSの認知
5月	・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施 ・6年生による低学年への読み聞かせ	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動
6月	・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施 ・縦割り班清掃の開始(～3月まで) ・児童会による全校レク ・6年生によるあいさつ運動 ・6年生による低学年への読み聞かせ	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動
7月	・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施 ・6年生による低学年への読み聞かせ ・保護者面談の実施	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動
9月	・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルエアタッチあいさつ運動
10月	・運動会での縦割り団活動 学年ブロックでの競技練習・全校全員リレー	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動
11月	・縦割り班での「なかよし遠足」 ・児童会による全校レク ・全校給食 ・ SNS 教室(外部講師)	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動
12月	・HAPPYはあとふるツリー運動(人権月間) ・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施 ・6年生による低学年への読み聞かせ	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動
1月	・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施 ・5・6年生によるあいさつ運動 ・6年生による低学年への読み聞かせ	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動
2月	・縦割り班での「なかよしタイム」活動の実施 ・5・6年生によるあいさつ運動 ・6年生による低学年への読み聞かせ	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動
3月	・児童会新聞による子ども会議の内容伝達 ・6年生による低学年への読み聞かせ	・生活アンケートをもとにしたSOSの認知 ・小中P 民スマイルハイタッチあいさつ運動